

(別添7)

事業所名 グループホーム 敬天

2 目標達成計画

作成日: 平成29年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	(日常的な外出支援) 利用者は自分の行きたいところに、自由に外出ができていないのではないか	自分の行きたいところに、できるだけ行けるよう個別支援に努める。	ひとり一人の思いや意向を理解し、行きたいところを把握する。家族との外出や外泊もできるだけ支援していく。昔馴染みの場所やお店、友人に会えるよう調整していく。	12ヶ月
2	29	(地域資源との協働) 地域資源を十分に活用できていないのではないか	地域資源を活用し、社会とのつながりの中で安全で豊かな暮らしを楽しむ。	地域の小・中学校、幼稚園との交流、地域の行事に参加する。併設施設や他の施設とも交流していく。地元老人会との交流会を計画し、実施していく。	12ヶ月
3	13	(職員を育てる取り組み) 施設内研修、グループホーム連絡協議会での研修、個々の研修など受講しているが、介護力向上のため、更に研修が必要なのではないか	認知症ケアの知識と介護力の向上をめざす。	グループホーム交流研修、施設内研修、外部の研修への参加、また、認知症ケアの専門的知識を向上のための研修を、できるだけ全職員が受講する。個人別の研修計画を作成し、計画に沿って研修を実施していく。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。